

# Lion

IWATE

2017  
2  
Feb.

- 特集① ライオンの森のいま
- アクティビティ活動報告
- 特集② あづま海道に行く
- ライオンクエスト ワークショップ



シリーズ 森のなかのいわて…共生の道

## 第7回 ライオンの森の今

今年度の「ライオンいわて」では特集として、県内各地の「森」について取材してきました。各クラブへの取材の中で、「ライオンの森」についてのお話をうかがうことが多く、今月号では各地の「ライオンの森」について取材しました。

### ■紫波ライオンズクラブ

紫波町のほぼ中部に位置する城山公園内にあるライオンズの森。桜を中心に四季おりおりの草木に彩られています。年に2回の整備活動は昨年で39年を数えるとのこと。こまめな手入れがなされているため、散策にも適しています。



## ■大東岩手ライオンズクラブ

昭和59年(1984)、クラブチャーターナイト15周年の記念事業として整備された「ライオンズ憩の森」。藤、もみじ、ナナカマド、さつき、つつじなど季節によって楽しめる工夫がされ地元の人々に親しまれています。年に2度ほど、早朝6時から労働アクティビティとして、剪定や草刈り作業などを行っています。



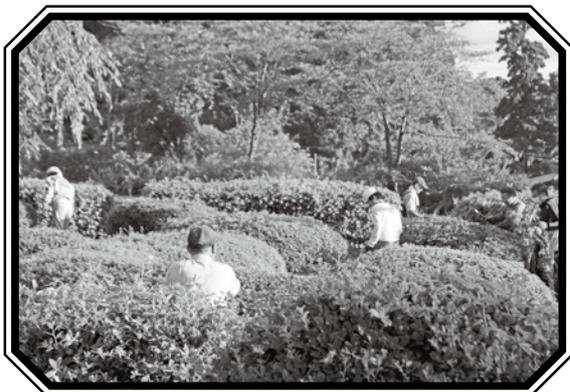
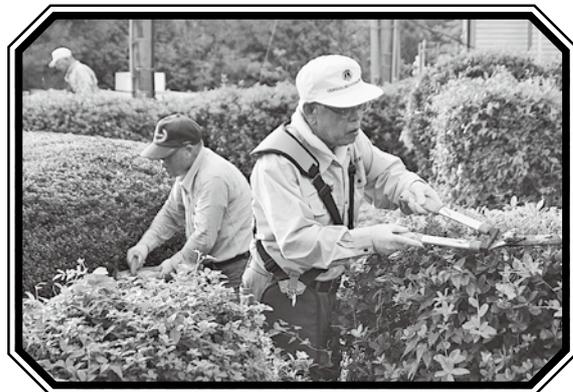
## ■和賀ライオンズクラブ

10月号掲載記事の取材でお世話になった和賀ライオンズクラブ。「ライオンの森」を意識して取材するようになったのはここを訪れたことがきっかけだったかもしれません。チャーターナイト15周年事業として昭和57年(1982)4月24日に、水神温泉近くの市有地に3000本の杉を植栽したそうです。「大きな杉になったら、それで事務所を建てよう」と話していたところにロマンを感じます。



## ■平泉ライオンズクラブ

昭和53年(1978)5月3日、平泉町内の中尊寺のすぐ隣に整備された「弁慶の森」は、姉妹クラブの和歌山県の田辺LCから寄贈された松が中心となっています。姉妹クラブ提携を機に平泉町と田辺市も姉妹都市を結んでおり、その象徴ともいえるのが「弁慶の森」なのです。



私事になりますが私が所属する平泉LCに入会したきっかけは、この「ライオンの森」にあります。平泉歴史遺産登録が望まれていた10年前、ある講演会で平泉LCの「弁慶の森」の整備活動を聞きました。自然環境保護を目的とするのではなく、地域の景観をよりよくするための刈り払いなどを含む整備活動をしている団体があると聞き、それが平泉LCでした。クラブには、生前の父も所属していましたが、イメージとして町の社長さんたちが集まっている活動ぐらいの認識しかなく、その社長さんたちが、地元の景観を良くするために朝の6時に草刈り鎌を持ち寄って集まると聞き、「う、かっこいい」と感じてしまいました。当時いくつかの青年団体に所属していましたが、自身が体を使って奉仕するアクティビティに、「青年団体を卒業したらライオンズ入ろう。そして、絶対に自分が育った平泉にしよう」と決めました。今回の取材で、そのことを思い出しました。

ライオンいわて11月号で、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会でのボランティアを取材いたしました。様々なアクティビティの中でも、何かに頑

張っている人を応援するのはとっても素晴らしいアクティビティだと感じました。ライオンの森の整備活動は、同じ応援でも、自然の草や花への応援です。そして、ライオンの森を作った先輩の志やその当時の自分の思いへの応援でもあるように思います。

そして、この活動は、過去には自然保護の活動であったり、植林と言う経済活動であったものが、現在は景観の保護や、地域の住民の「コミュニティの場」の提供であったりと変化しています。どのようなかたちにせよそこには地元への愛着があり、自身の労働という奉仕の精神があります。現在各地のライオンの森が、この先10年も20年もその姿をつないでいくことを願わずにはられません。

今回ご紹介できなかったクラブの森もまだまだあるかと思います。現在、どのように活動されているのか、編集委員会までご連絡いただけましたら幸いです。

取材/L 村上耕一



## ★ ★ 各地区アクティビティ紹介 ★ ★

## 子供手作り凧揚げ大会の思い出

ライオンいわて副編集長  
L 佐藤 正彦 (一関)

この行事は、子供たちに正月の外での遊びを教えるのと同時に、物を作る喜びと難しさ、また物の大切さを知ってもらうことを目的に始めたもので(第1回は1980年1月)、当初は子供会のリーダーを集めて凧作り教室を再三開き、リーダーを養成し、そのリーダーが子供会に帰って冬休みの宿題をやりながら、みんなで凧作りをし、その作品を発表しあっていました(2005年までは1月中旬に開催。その後冬休みが短くなったため2月に開催するようになりました)。

1996年の第17回には、一関地方振興局との共催で約300名が参加し、ライオンもうれしい悲鳴でした。1999年には一関小学校の永洞彩さんが、20年前のお父さんに続いての親子二代の高度賞を受賞しました。また「盛岡たこの会」がデモンストレーションで300枚の連凧を揚げたり、一関LC制作の2m×1mの大凧を揚げたりと、いろいろな凧揚げを楽しみました。



## 憧れの凧揚げ大会

正月気分も抜けた天気の良い日、上の橋の上で立ち止まり、磐井川左岸の堤防改修工事の進捗状況などを暫し眺めた。白鳥が舞い降りる一方、「立ち入り禁止」の河川敷は寂しさを感じたが、真っ白な雪野原は眩しかった。

「あっ…そうだ」5～6年前まで続いていた“子供手作り凧揚げ大会”を思い出した。一関LC主催の恒例行事で、風物詩的存在に思えた。市内の子供たちが多人数参加し、凧の手作り体験、そして本番の凧揚げ大会に挑戦し、自然の風の向きやその強弱との戦いその調和の仕方を体験する。親たちの親交交流が生ずる場でもあった。

ライオンいわて副編集長  
L 小野寺 進 (一関中央)

32回(32年間)の継続事業だったことを聞いた。時代変化、諸事情により途切れたとのこと、残念に思う。国交省によると、堤防改修工事は平成29年度(2017年度)頃までに終了予定とのこと。憧れの手作り凧揚げ大会の子供たちのあの歓声に戻ってきてほしいと思い、願う一人だ。



## クリスマス 2つのイベント

金ヶ崎ライオンズクラブ  
幹事 L 岩田 邦明

12月22日は、2つのクリスマスにまつわるアクティビティを行いました。

1つ目は、特別養護老人ホーム「友愛園」への慰問です。園ではクリスマス誕生会が行われ、当クラブは、毎年恒例となった会員持ち寄りのタオル（園での生活に使用）70本とみかんを贈呈しました。また、地元の女声コーラスグループ「コーラス白ゆり」をお招きし、クリスマスソングや童謡、歌謡曲11曲の「歌のプレゼント」をしました。皆さんは歌がとても上手で、マイクを向けても元気な声で歌って下さいました。「北国の春」はアンコールがかかるほど。会場一杯の歌声や拍手が響く会となりました。会員も「来年も元気で会いましょう」と皆さんを激励しました。

2つ目は、毎年恒例としている12月第2例会後の「クリスマス家族会」開催です。今年は25名の参

加を得ての開催でした。会の始まりは、キャンドルを持って厳かに入場。その後、「のど自慢大会」、会員持ち寄りの「クリスマス抽選会」で多いに盛り上がり、会員・家族会員の交流も深めることができました。



## 第13回前沢区小学生新春書初め大会

前沢ライオンズクラブ  
L 新居田 弘文

当クラブでは、青少年健全育成に重点を置いており、圖南書道会様に後援をいただきながら、会員の指導の下小学生新春書初め大会を開催しています。

13回目を迎える今回は、1月9日に前沢地区センター軽運動場を会場に、小学1年生から6年生までの45名が参加しました。

後日作品の審査会並びに前沢ふれあいセンターに作品の展示をし、前沢ライオンズクラブ会長賞、奥州市教育委員会教育長賞の表彰式を行いました。

寒い中ひたすら小さな手で真っ白な紙に一文字一文字心を込めて筆を運ぶ姿を見ていると、「今

のパソコン時代だからこそ、小さなうちから書道を通して自分の文字に自信を持って育てほしい」と切に思い、これからもアクティビティとして継続していくことが会員一同の共通した願いであります。



## 第41回郷土いろはカルタ大会

大迫早池峰ライオンズクラブ  
幹事 L 黒須 信男

まだまだ正月気分が抜けきれない1月9日に、恒例行事となっているカルタ大会を行いました。カルタは先輩ライオンによって郷土の言い伝え等を題材として作られた品です。当時作成した48枚をそのままの絵と文章で使用しています。

今回の参加者は、小学校低学年30名、高学年36名、お手伝いをしてくれた大迫中学校の生徒11名、早池峰レオクラブのレオリーダーが1名、ライオンは7名、事務局1名。試合が始まると、試合に臨む児童たちの真剣な眼差しと緊張感が伝わってきて、読み手のライオンもわくわくしてきます。試合が終わった後は、中学生、レオクラブの皆さんと食事会を行ない、交流を深めています。

昨年まで児童で競技に参加していた子が中学生になり、今度は審判として手伝ってくれている事がうれしいです。なお、高校生になるとレオとして参加しています。後日、額に入れたチーム写真を各学校に持っていき、校長先生から伝達を行なっています。

郷土愛を育て、先輩が後輩の面倒を見て、また後輩もそれに感謝する心を育みたいのです。

「ありがとう どうぞの心で 街づくり」  
私の好きなカルタの一枚です。これからも子供たちにこの心が受け継がれていけば良いと願っています。



連載

## あづま海道を行く

—その6—

## 樺山遺跡とみちのく民俗村



江刺の岩谷堂高校前から県道14号線に入り、5kmほどで北上市照岡小学校前を通り過ぎ右折、やがてなだらかな広陵の樺山遺跡に到着する。住所的には北上市だが、江刺区との境界線に立地している。

この遺跡は、国指定史跡であり、縄文時代前期末から後期(約4、5千年前)にかけての集落跡と言う。特に評価されているのが、20数か所ある配石遺構とよばれる石組み群だが、墓地なのか祭場なのかは、まだ解明されていないという。

また広陵上は、配石遺構を造った人々が生活した場所と考えられ、縄文時代中期の竪穴住居群が再現されている。この日は晴天ということもあり、竪穴住居周辺に10人ほどの若者が車座になり昼食を摂っていた。ここから再び県道14号線に戻り、北上展勝地に向かう。

念のため言うが「あづま海道を行く」は、当初、県道14号線沿い、一関市舞川から北上市立花までの歴史・自然散策を目的としてスタートした。その意味では、今日は仮のゴールと思いつつ散策している。

相変わらず展勝地の展望台から見る北上川は華やかで、観光客で賑わっていた。一休みして美味しいと評判のソフトクリームを食べる。そして道を横断してみちのく民俗村へ。

このエリアには博物館と民俗村が併設されているが、博物館は増設工事中だったこともあり、民俗村だけの見学とした。

民俗村には、北上川流域とその周辺の古民家10棟と、歴史的建造物が点在する東北有数の野外博物館と紹介されている。余談だが、この風景を見ていたら、子供だった頃、ヤギやウサギやニワトリを飼育している農家に遊びに行った頃を思い出した。もちろん帰りには卵や牛乳をお土産に頂戴した。生活は貧しくも心豊かな時代であった。

古民家の奥の方には、旧黒沢尻実科高等女学校の校舎が民俗資料館として残されており、農具や職人の道具などを展示。また消防資料館には、明治から昭和にかけての消防自動車や消防器具が展示されていた。昭和生まれには一日いても飽きない場所だ、と後ろ髪をひかれながら、国見山に向かう。



再現された樺山遺跡の竪穴住居



みちのく民俗村の古民家

## 国見山と極楽寺文化

展勝地から500mほど江刺方面に南下。憩いの森キャンプ場方面に左折、曲がりくねった山道を2kmほど東に進むと、国見山神社の鳥居に出くわした。案内板には「いまから1200年位前に慈覚大師が極楽寺を建立。中尊寺が出来ると250年も前……」と書かれているが、中尊寺は西暦850年開基。250年前と言うと西暦600年、慈覚大師は西暦794年生まれなのでちょっと無理がある解説。

持参した資料では「坂上田村麻呂が胆沢城を造った時、国家鎮護の儀式を盛大に行うようになり大勢の僧侶が参加、その僧侶の山林修行の場を兼ねて極楽寺を建立。700を超える堂塔、36の僧坊をもつ大寺院で……」と解説している。田村麻呂が胆沢城を築いたのは西暦802年なので、1214年前。年代的にはこちらの方が信憑性がありますね。

苔むした石段を上ると山道伝いに大日堂跡、本堂跡、経蔵跡などの碑がある。途中の横道で地元の農家の方5人と出くわす。ボランティアで枯枝の駆除に来たとの事だが、息も切らさず登って

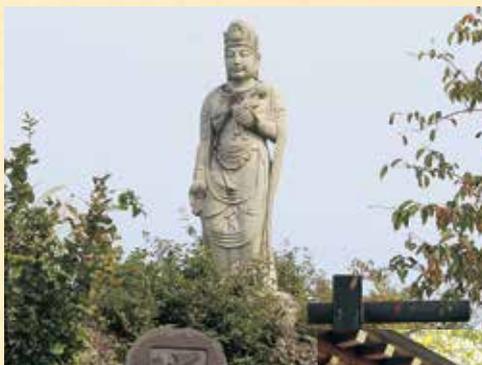
いく。道は急斜面となり、いつの間にかデコボコの石の道になった。ロッククライミングさながらに、さらに100mほどよじ登ると岩石にポッカーリと穴が開いている。江戸時代の紀行家・菅江真澄も紹介している「胎内くぐり」の石門である。

この石門をくぐり抜けると、視界が開け展望台に到着した。「戸木の峰」という。先客が2人、休息していた。話しぶりでは県外からやってきたらしいが、歴史好きには有名な山と教えてくれた。西南には奥羽山脈と奥六郡の田野が開け、50mほど右手の岩には平和大観音様がそびえたつ。

観音様の足元にある石碑には歴代の岩手県知事の名前も刻まれていたが、これも何か訳があるのだろう。

地元の方々に御礼をし、夢心地で山頂を後にする。帰りは鳥居の手前を左折し下山、国見山無料休息所に到着した。ここが車で訪れた場合の正面入り口とのこと。左手奥に現在の極楽寺が平安時代さながらに優美にそびえていた。

ルポ／梅木隆詩



山頂にそびえる  
平和大観音様



平安時代さながらの  
極楽寺



「胎内くぐり」を登る  
地元ボランティアの方々

# 日々復旧を目指す岩泉から

昨年8月30日の台風10号によって大きな被害に遭った岩泉町。「ライオンいわて」誌では、直後から被災地の現状をレポートし、私たちにできること、すべきことを考えてきました。今号は、3月19日(日)に営業再開が決まった龍泉洞の様子や、これまでの支援活動について紹介します。被害を風化させぬよう、復興の手助けについて今一度考えてみましょう。

## 岩泉のいま

岩泉龍泉洞ライオンズクラブ幹事 澤里寛しより情報をいただきました。

3月19日(日)に営業再開が決まった龍泉洞は、台風10号による豪雨で地下水が増水し、床板が流失するなどの被害のほか、照明、インターホン、分電盤などの洞内設備の大半が浸水によって故障しました。周辺の遊歩道や駐車場も崩落、舗装が剥がれるなどしました。「龍泉洞の閉洞中は、全国の旅行会社やお客様から現状と営業再開についての問い合わせを多くいただき、改めて、観光地としての龍泉洞の価値の高さを実感しました。龍泉洞は営業再開にこぎつけましたが、岩泉町の復興はまだまだこれからですので、町を活気付けるために、龍泉洞も頑張っていきたいと思います」と龍泉洞事務所の三上薫所長から伺いました。



## 岩泉町地域整備課統括室長 佐々木真さんのお話

道路関係の被害だけでも150億円にもおよび、甚大な被害となっています。現在、孤立集落は解消され、応急復旧はほぼ完了。道路の通行はおおむね支障のない状況です。でも、災害により冬期間除雪できない路線もあり、ご不便をかけている状況でもあります。来年度から本格的な復旧事業が開始し、3年から4年をかけての完了を目標としています。

16/9/12-13

332-C 地区 東北福祉大学レオクラブ



332-C 地区キャビネット副幹事の武者眞博 L とともに、東北福祉大学レオクラブの皆さんが岩泉に来てくれました。被災住宅の泥の掻き出し、流木などの撤去作業といった大変力のいる作業を頑張っていただき、若い人の頼もしさを痛感しました。13日には332-C 地区4R1ZのZCP木村信和 L (石巻めぐみ野 LC) ら4名も来てくださり、名物の焼そば120食の炊き出し支援をいただきました。

16/10/25

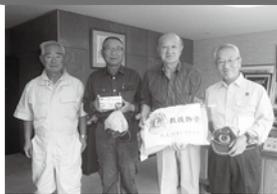
金ヶ崎ライオンズクラブ



会長・高橋康博 L らが支援物資を持って来ていただきました。

16/9/19 16/10/2 16/11/6

北上ライオンズクラブ



会長の及川力 L の会社より土嚢袋をいただき、作業着やマスクなどもとじていただきました。

332-B 地区キャビネット



1R1ZのZCP・猿舘伸俊 L を始めとする盛岡南 LC の皆さん、一関中央 LC の皆さん、金野幸造ガバナーを始めとするキャビネット三役の皆さん、たくさんの御支援をありがとうございます。支援物資をいただいたり、無料コインランドリーを開設していただいたりと、大変心強く思っています。

16/9/30

久慈ライオンズクラブ



先輩クラブの久慈ライオンズクラブより、会長の對馬博貴 L が見舞金を持参してくださいました。

16/9/19 16/10/2 16/11/6

弘前東奥ライオンズクラブ



会長の山内竜一 L をはじめ、複数名のライオンにおいていただき、支援物資をいただいたり、泥の掻き出し作業などを手伝っていただきました。

## 御礼

岩泉龍泉洞 LC 会長 L 佐々木 松夫

岩泉龍泉洞ライオンズは、先の台風10号により会員11名が被害を受け、町全体が大きな被害に遭いました。

10月に入り即刻、キャビネットを中心とした地区クラブの多大なるご支援に、この場をお借りし心から厚く御礼申し上げます。

また、他地区のクラブからのご支援もいただき、会員一同改めて感謝申し上げます。

他地区クラブ(気仙沼 LC 及び弘前東奥 LC)の皆様には御礼申し上げます。

尚、被災直後よりキャビネットをお願いいたしました、コインランドリーの設置にいたしましても、要望に早速お応えいただきまして大変ありがたく

感謝いたしております。

特に岩泉はこれから厳しい冬を迎える事から乾燥機が有れば非常に便利になります。

1年間という期間では有りますが、支援事業の一環として大変ありがたく、被災者の方々も大変よるこび感謝いたしております。

被災者の皆様は、日々住宅の後片付けに取り組んでおられますが、元の生活に戻るには、今しばらく掛かるものと思います。

私ども、岩泉龍泉洞ライオンズクラブは、332-B地区をはじめ多くのご支援下さいましたライオンズ精神に恥じないアクティビティを実施して参りたいと思います。

# ライオンズクエスト ワークショップ

## ライオンズクエストの理念

- ▶ 子供の可能性を最大限発揮できるようサポート
- ▶ ライフスキルを育て、人格を高める
- ▶ 自分らしさを大切にし、能力を伸ばす
- ▶ 保護者を支援していく
- ▶ 子供を支援する大人の輪、教育の輪を広げる

ライフスキルプログラム一関小学校校内型ワークショップ並びに同時開催一関セミナー（体験会）開催報告  
地区青少年・ライオンズクエスト委員長 L 本田秀行

せっかく仰せつかったお役です。今期キャビネットを担当するゾーン内において、どうしても開催をしてみたいと考えていました。それぞれのクラブでは、青少年育成のアクティビティが多く取り組まれており、それらを通じた教育現場との縁を大切にしながら進めることができないのか、更には、次期あるいは数年後に向けての種まきをと、大いに夢をふくらませました。

薬物乱用防止の取り組みをベースにしながら、子育て時代のPTA活動の縁をたどって、とりあえずは各校2名程の参加による公募型ワークショップを目標に、手探り状態で学校回りを始めました。途中、会場提供をお願いしました一関小

学校の校長先生から思いもよらない意見をいただきました。「うちの学校単独（校内型）で進めてみたい。」この言葉によって、大きく前に進めることができました。

となると、お声掛けをした各学校の校長先生には、ワークショップ2日目の模擬授業を見ていただく体験セミナーの同時開催が効果的との、JIYDからの助言をいただき、ワークショップおよびセミナーの先生を依頼し当日を迎えました。

冬休みに入ってすぐの12月26日、27日の2日間、一関小学校校内型ワークショップ。そして2日目の午後の模擬授業に合わせて約3時間の体験セミナーを開催しました。



講師の外川澄子先生



初めは不安そうな  
顔の先生方

ワークショップは、校長先生を含めた先生方19名、講師の外川澄子先生のやさしくそして説得力のある指導の下で進められました。円形に配置された椅子席は、全員の顔を見ることができる唯一の形態です。子供たちに力をつけてほしいと思う内容を全員が発表し、その方向こそがライフスキル教育なのだと認識を共有しながら、エネジャイザー、ロールプレイ、ブレインストーミングなどの体験を経て、一人一人が大切にされる集団のあり方を体得していきました。

2日目は、資料に基づいたグループ研修と模擬授業。4グループに分かれた実践でした。現場で培った力量がこの2日間で得たプログラムによっ

て、大きく開花してゆく姿を目の当たりにしたのでした。

一方、体験セミナーは校長先生6名、民生児童委員(主任児童委員)2名、ゾーン内ライオン7名、計15名の参加でした。前半は、講師の鈴木美佳先生の指導の下、グループ活動体験や映像を含めた説明をうけ、その後模擬授業を見学。参加された校長先生からは、「うちの学校でもやってみたいが、相談にのっていただけますか?」。この言葉を励みに、次につないでゆければと思っています。

ご協力ありがとうございました。



体験セミナーの講師  
鈴木美佳先生



学校の先生というのは日々多忙。でもそれを言い訳にせず、子供たちと毎日向き合う姿には頭が下がります。子供にとって、先生という存在は大変な影響力を持ちます。言葉ひとつ、態度ひとつが子供の未来に影響を与えるため、日々の接し方は重要です。

そういったことを踏まえ、今回のクエストでは先生と子供たちのコミュニケーションの取り方をロールプレイなどで実践していました。最初は不安そうに外川先生の話聞いていた参加者の先生方も、ロールプレイが始まると生き生きとしてきたように感じました。子供の側を体験することで、子供をサポートするときの心構え、ライフスキルの重要性を知ることができたのではないかと思います。

(取材/川嶋印刷株式会社)

# 12月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC	14日	クリスマスチャリティオークション (事業資金獲得)
盛岡不來方 LC	4日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	21日	清和荘にクリスマスプレゼント贈呈
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
盛岡中津川 LC	8日	1R1Z 合同 ACT 台風 10 号被災支援募金
	10日	クリスマス ACT 和光学園餅つき会
	26日	薬物乱用防止講座
盛岡親武 LC	15日	直接献血
	22日	LCIF \$ 1000 献金、LCIF 献金
	23日	「もりにし柔道剣道教室納会」協賛
盛岡南 LC	3日	盛岡市バドミントン協会への協賛
	15日	視覚障がい者のための手で見る博物館への寄贈及び贈呈式
	17日	献血推進活動 (クリスマス献血)
滝沢 LC	22日	クリスマスチャリティオークション (事業資金獲得)
	25日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	26日	「世界のカレンダー展」への協力
玉山姫神 LC	-	
1R2Z		
岩手 LC	3日	第 40 回歳末助け合い芸能大会
	11日	岩手町少年剣道交流大会へ助成金贈呈
	20日	岩手町内社会福祉団体に義援金贈呈
二戸 LC	8日	2016 年度カシオペア青年会議所卒業式
	22日	ガールスカウトへの助成
西根 LC	18日	クリスマス家族会でのオークション
	19日	献血推進活動
安代 LC	26日	歳末たすけあい募金
	-	
2R1Z		
花巻 LC	2日	暴力団追放啓発活動参加
	4日	花巻市福祉バザー
	10日	花巻市市民憲章運動推進大会
紫波 LC	~ 22日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
石鳥谷 LC	4日	歳末助け合い芸能大会へ協賛
	21日	平和ポスター表彰式
	22日	年賀状で詐欺防止啓発活動 協賛
大迫早池峰 LC	3日	慈善鍋活動と歳末たすけあい芸能大会で募金
花巻東 LC	4日	第 12 回花巻市福祉バザー
	6日	レディースの会 チャリティ販売品の製作
	9日	福祉施設慰問 (宮野目デイサービスセンター)
	23日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
東和嶺ヶ石 LC	13日	薬物乱用防止教室 東和中学校
	16日	歳末チャリティオークション (事業資金獲得)
矢巾 LC	10日~11日	矢巾町長杯・東北・山百合カップ
	12日	バザー売上金を矢巾町社会福祉協議会に寄贈
2R2Z		
北上 LC	11月1日~30日	資源回収リサイクル活動
	1日、6日、23日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	5日	県立工業高校 全国高等学校ラグビーフットボール大会出場支援
	5日	専修大学北上高校マーチング全国大会出場支援
和賀 LC	24日	北上レオカレンダー販売協力
	1日、23日、27日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	5日、19日、22日	資源回収
	11日	北上市手をつなぐ育成会和賀支部クリスマス会
	13日	歳末助け合い義援金
北上国見 LC	23日	「あぐどまめ」コンサート支援
	21日	歳末助け合い基金
	21日	チャリティバザー・オークション (事業資金獲得)
	23日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

江釣子 LC	7日、14日、15日	資源回収
	11日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	26日	歳末助け合い義援金
3R1Z		
水沢 LC	2日	「福寿荘」歳末福祉慰問
	11日	前沢 LC たすけあいチャリティショー協力
	15日	歳末たすけあい募金
	25日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
江刺岩手 LC	1日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	11日	前沢 LC たすけあいチャリティショー協力
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
前沢 LC	11日	第 18 回歳末たすけあいチャリティショー
	11日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソンに寄付
	11日	前沢高校生徒会、前沢中学校に助成
	11日	前沢一輪車クラブ、小学生書き初め大会、少年剣道大会に助成
	18日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	20日	前沢ふれあいセンター清掃奉仕
水沢中央 LC	15日	バザー益金を歳末たすけあい募金へ贈呈
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	25日	水沢中央 LC 旗フットサル大会
金ヶ崎 LC	10日	「歳末たすけあい演芸大会いかねがさき」協力
	11日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	11日	前沢 LC たすけあいチャリティショー協力
	12日	歳末たすけあい募金
	22日	老人ホーム「友愛園」慰問
胆沢岩手 LC	-	
胆沢岩手 LC	-	
	-	
3R2Z		
一関 LC	1日	交通事故防止啓発活動
	17日	ブナの木園との交流会
	22日	歳末助け合い寄付
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	25日	献血推進活動 (クリスマス献血)
平泉 LC	19日	歳末たすけあい募金
	21日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	22日	黄金荘クリスマス会参加
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
花泉 LC	3日	ライオンズの森管理作業
	27日	歳末助け合い募金
一関中央 LC	4日	献血推進活動
	5日	歳末助け合い募金
	7日	使用済み切手 1000 枚送付
	8日	一輪車全国大会出場へ助成金
	14日	LCIF \$ 1000 献金
一関巖美溪 LC	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	24日	IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
4R1Z		
千厩 LC	15日	新聞少年を励ます会
大東岩手 LC	11月30日	ひかりの箱募金
	21日、22日、24日	老人施設にクリスマス慰問
東山 LC	11月29日	献血推進活動
藤沢岩手 LC	26日	台風 10 号被災地活動支援金贈呈
川崎岩手 LC	-	
室根 LC	24日	孝養ハイソックスクリスマス会
4R2Z		
大船渡 LC	3日	ライオンズ農園野菜を大洋学園に贈呈
	3日	大洋学園での慰問餅つき大会
	6日	大船渡中学校オムニコート整備支援
	10日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	10日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	22日	声の図書館点検と整備

陸前高田 LC	10月27日、29日	献血推進活動
	11月26日	ライオンズクラブ百周年記念植樹
住田 LC	2日	社会福祉協議会と「すみた荘」へ助成金贈呈
	22日	世田米、有住保育園クリスマス会協力
大船渡五葉 LC	10日	献血推進活動 (クリスマス献血)
<b>5R1Z</b>		
宮古岩手 LC	10日、11日	大熊手奉納
	14日、19日	障がい者施設にクリスマスプレゼント
久慈 LC	8日	台風10号災害寄付金 久慈市に贈呈
	24日	IBCラジオ・チャリティ・ミュージックソン
陸中宮古 LC	1日	ライオンズクラブ百周年記念植樹
	10、11	大熊手奉納
	13日	レディの会奉仕活動
	14日、19日	障がい者施設にクリスマスプレゼント
	14日	百獣の王ライオンコンペ (事業資金獲得)
田野畑 LC	21日	クリスマス家族会チャリティバザー (事業資金獲得)
	24日	IBCラジオ・チャリティ・ミュージックソン
	2日	歳末たすけあい演芸会
	13日	台風10号被災地支援みかん配布
岩泉龍泉洞 LC	10日	東京より来町のLCの案内活動支援
	30日	ボランティア団体に作業用機械等 無償貸与
<b>5R2Z</b>		
釜石 LC	17日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	21日	第426回 LL 奉仕活動
	21日	クリスマス家族会オークション (事業資金獲得)
	22日	歳末たすけあい運動に協力

遠野 LC	7日	リサイクル品回収
	25日	東日本大震災被災者支援 仮設住宅へ正月の餅とみかん配布
釜石リアス LC	17日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	22日	歳末たすけあい義援金
	26日	使用済み切手 1000枚送付
大槌 LC	10月5日	大槌町剣道大会助成金
	10月29日	スポーツ少年団野球大会助成金
	11月20日	大槌町スポーツ少年団にユニフォームなど一式助成
	11月20日	人形劇団 あんど娘へ活動費 助成
陸中山田 LC	12月20日	歳末助け合い募金 (慈善なべ)
	12日	台風10号災害義援金送金
<b>ライオネスクラブ</b>		
西根 LS	18日	クリスマス家族会でのオークション (事業資金獲得)
<b>レオクラブ</b>		
盛岡 LEO	-	
早池峰 LEO	-	
石鳥谷 LEO	-	
北上 LEO	23日	献血推進活動 (クリスマス献血)
	24日	震災復興支援カレンダー展示即売会
一関二高 LEO	24日	IBCラジオ・チャリティ・ミュージックソン
釜石 LEO	17日	献血推進活動 (クリスマス献血)

## 会員動向

### 12月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
盛岡南 LC	小野寺 訓子
	畠 嘉葉子
北上 LC	及川 綾子
水沢 LC	菅原 新治
平泉 LC	千葉 幸江
陸前高田 LC	米谷 猛
久慈 LC	西 ゆき子
陸中山田 LC	佐々木 俊一

### 12月 LCIF \$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
盛岡観武 LC	山崎 正隆	7
一関中央 LC	菊地 慶矩	5

盛岡不來方LC  
故 L 須永 宏  
享年92歳 (1967年10月入会)  
12月2日ご逝去



矢巾LC  
故 L 黒田 嘉寛  
享年62歳 (2016年1月入会)  
12月14日ご逝去



大船渡LC  
故 L 鈴木 弘  
享年66歳 (2005年11月入会)  
12月18日ご逝去



室根LC  
故 L 千葉 忠  
享年71歳 (2003年7月入会)  
12月24日ご逝去



室根LC  
故 L 小山 謂三  
享年79歳 (1998年6月入会)  
チャーターメンバー  
12月18日ご逝去





## アクティビティ フォトグラフ

### 釜石リアスLC



クリスマス献血キャンペーン

### 盛岡観武LC



もりにし柔剣道場教室納会

### 平泉LC



クリスマス献血

### 陸中宮古LC



市内障がい者施設に  
クリスマスプレゼントを配布

### 北上LC



カレンダー展示販売

### 花泉LC



ライオンの森管理作業

### 室根LC



孝養ハイッククリスマス会協力

### 水沢LC



IBC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

### 和賀LC



歳末助け合い義援金贈呈

### お知らせ

- 1、ライオンいわて1月号6頁「キャビネット三役と大会役員による合同打ち合わせ会議」の記事内において、参加者のお名前に間違いがございました。正しくは“大会委員長 小岩文郎”です。訂正してお詫びいたします。
- 2、ライオンいわて1月号4頁「森のなかのいわて」の記事内において同行していただいた方のお名前に間違いがございました。森谷潤Lのほか、鈴木芳勝L、村上繁喜Lでした。訂正してお詫びいたします。
- 3、釜石はまゆり支部が2016年12月31日をもって解散しました。
- 4、2016-2017年度第二副地区ガバナー L 矢羽々睦子が退任しました。

### 《表紙の写真：凧揚げ》

数年前まで、一関の磐井川の堤防では冬休みに凧揚げ大会を開催していました。凧の作り方を子供たちに教え、自分で作った凧を揚げる…。当たり前のようにあった光景が、現在は見られなくなりました。またこんな子供たちの楽しそうな顔を見たいものです。

### 編集後記

今年度の通し企画として、“森シリーズ”を連載している。各地の森や自然をその地のLCのメンバーとともに訪ね、新たな魅力を発見したり、様々な課題に直面したり。そして何より仲間であるライオンの諸氏との交流に感謝することしきりなのだ。各クラブ、各ゾーンによって活動の仕方が若干違ったりして、それを知るといことも大変勉強になる。

森シリーズの取材もあと数回を残すのみとなった。知らなかった森を訪ね、知らなかった人々と知り合うことがこんなにも知的好奇心をくすぐるとは思わなかった。次は貴方のクラブに協力をお願いするかもしれない。ぜひお付き合いください!

(ライオンいわて編集委員会 委員一同)

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

### ライオンいわて編集委員会

発行日 2017年2月15日

発行人 L 金野幸造

編集長 L 菊地慶矩(一関中央LC)

副編集長 L 小野寺進(一関中央LC)、L 佐藤正彦(一関LC)

編集委員 L 村上耕一(平泉LC)、L 菅原徳哉(花泉LC)、

L 熊谷嘉高(花泉LC)、L 菅原公正(一関中央LC)

L 伊藤和江(一関巖美溪LC)

印刷 川崎印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332btorioka@almond.ocn.ne.jp